

令和5年12月 高島市議会定例会 開会挨拶

令和5年11月29日（水）10:00～

あらためまして、おはようございます。

本日ここに、令和5年12月の高島市議会定例会を招集させていただきましたところ、議員各位におかれましては、ご出席を賜り誠にありがとうございます。

それでは開会にあたりまして、この機会に一言ご挨拶を申し上げます。

まず、国の経済対策と高島市の対応についてであります。

ロシアによるウクライナへの軍事侵略をはじめ、イスラエル軍とイスラム組織ハマスとの戦闘状況等にも見られる複雑な国際諸情勢や、米国或いは欧州諸国における金融政策など、我が国を取り巻く様々な国際環境の中で、約4年間に及ぶコロナ禍がようやく収まりつつあり、国内の経済活動が活発な動きを取り戻しているその一方で、燃料代や諸物価の高騰、或いは円安に伴う輸入食品の値上がり等による家計支出の増大は、市民生活に大きな影響を与えているものと認識しているところであります。

このため政府におかれましては、これらの諸物価高騰が及ぼす影響を鑑み、国民の生活を支えるために、住民税非課税世帯を対象に1世帯あたり7万円の給付金を支給する等の方針を柱とした、総額13兆2千億円にのぼる総合経済対策が打ち出され、その裏付けとなる国の本年度補正予算案は先週24日に衆議院で可決され、参議院においても今週27日から昨日にかけて審議が重ねられ、本日中にも可決成立の運びとなることが予想されているところであります。

市といたしましては、これらの国の動向を踏まえた低所得世帯に対する給付金の支給と併せまして、エネルギーや原材料価格の高騰が長引く現状に対し、市民生活をお支えし地域経済の活性化を図るため、

市民の皆様お一人あたり5千円の地域通貨アイカを配布することとし、これら一連の物価高騰対策に必要な費用を、令和5年度一般会計補正予算案として今定例会に上程させていただくものであります。

議員各位におかれましても、こうした状況をご理解の上で、各種の支援策を可能な限り迅速に執行いたしますためにも、関係議案の早期可決に向けましたご審議を賜りますようお願い申し上げますところでもあります。

次に、我が国を取り巻く国際諸情勢についてであります。

先週21日の深夜には、北朝鮮が軍事偵察衛星を発射したとの速報が流れ、Jアラートが沖縄県を対象に発動されたところでもあります。が、幾度となく繰り返される弾道ミサイルの発射による挑発行為をはじめ、中国の軍事拡大路線に伴う緊張の高まりや台湾有事の問題など、我が国を取り巻く軍事的な諸情勢は、いまさら申し上げるまでもなく刻一刻と厳しい情勢に晒されております。

そのような中で、自衛隊の関連施設が所在している本市といたしましては、国防という極めて崇高で重要な任務を担っていただいている自衛隊の皆様活動を、引き続きしっかりとお支えして参らなければならないと考えているところであり、議員各位におかれましても、何卒ご理解の上、お力添えを賜りますようお願いを申し上げますところでもあります。

さて本定例会に提案させていただきます案件は、報告案件が2件、議決案件が8件、条例案件が19件、そして予算案件が12件の計41件を予定しております。

提案いたします各議案につきましては、何卒、慎重ご審議のうえ、ご議決を賜りますようお願いを申し上げ、開会にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。